

平成28年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	慰霊友好親善事業			担当部局庁	社会・援護局			作成責任者		
事業開始年度	平成3年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	事業課			吉田 和郎		
会計区分	一般会計									
根拠法令 (具体的な条項も記載)	厚生労働省設置法第4条第1項第104の2 厚生労働省組織令第108条				関係する計画、通知等	平成28年度遺骨収集帰還等派遣費の国庫補助について (平成28年3月30日厚生労働省発社援0330第33号)				
主要政策・施策	-				主要経費	その他の事項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	先の大戦における戦没者の遺児に対する慰藉の一環として、戦没者の遺児が、亡き父の眠る地に赴き心ゆくまで慰霊追悼を行うとともに、現地の人々と戦争犠牲者の遺族という共通の立場で友好親善を図り、相互理解を深める。									
事業概要 (5行程度以内。別添可)	先の大戦における戦没者の遺児が、旧主要戦域を巡拝し、戦没者の慰霊追悼を行うとともに、旧主要戦域の関係者との友好親善のための記念事業(教育施設への学用品等の寄贈、公共施設等の清掃、現地戦争犠牲者との交流会、記念植樹)を行う(定額補助)。									
実施方法	補助									
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求			
		補正予算	-	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-	-			
		計	272	272	351	259	259			
	執行額	272	272	351						
	執行率(%)	100%	100%	100%						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 28 年度	
	平成28年度は17地域での慰霊友好親善事業を実施する。	慰霊友好親善事業実施数	成果実績	回	17	17	12	-	-	
			目標値	回	17	17	12	-	17	
			達成度	%	100	100	100	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込			
	慰霊友好親善事業実施数	活動実績	回	17	17	12	-			
		当初見込み	回	17	17	12	17			
単位当たりコスト	算出根拠		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込			
	X:慰霊友好親善事業の実施に要した経費 Y:活動実績(実施数)	単位当たりコスト	千円	16,000	16,000	29,250	15,235			
		計算式	X/Y		272百万円/17回	272百万円/17回	351百万円/12回	259百万円/17回		
平成28・29年度予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由						
	遺骨収集帰還等派遣費補助金	259	259							
	計	259	259							

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	戦傷病者・戦没者遺族の援護、中国残留邦人等の支援を行うとともに、旧陸海軍の残務を整理すること(Ⅶ-3)									
	施策	戦没者遺骨収集事業等を行うことにより、戦没者遺族を慰藉すること(Ⅶ-3-2)									
	測定指標	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標	目標年度		
								- 年度	- 年度		
		実績値	-	-	-	-	-	-	-		
		目標値	-	-	-	-	-	-	-		
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係										
	先の大戦による戦没者の遺児が、旧主要戦域を巡拝し、戦没者の慰霊追悼を行うとともに、旧主要戦域の関係者との友好親善のための記念事業(教育施設への学用品等の寄贈、公共施設等の清掃、現地戦争犠牲者との交流会、記念植樹)を行う(定額補助)。戦没者遺児が旧主要戦域の人々と戦争犠牲者という共通の立場で友好親善を図りつつ、相互理解を深めることは、戦没者遺児の慰藉に寄与するものである。										
	経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	改革項目	分野:	-							
		(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時	27年度	28年度	中間目標	目標最終年度	
					- 年度			- 年度	- 年度		
成果実績			-	-	-	-	-	-	-		
		目標値	-	-	-	-	-	-	-		
		達成度	%	-	-	-	-	-	-		
(第二階層) KPI		KPI (第二階層)		単位	計画開始時	27年度	28年度	中間目標	目標最終年度		
					- 年度			- 年度	- 年度		
		成果実績	-	-	-	-	-	-	-		
		目標値	-	-	-	-	-	-	-		
	達成度	%	-	-	-	-	-	-			
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係											
-											
事業所管部局による点検・改善											
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	本事業は遺族団体等関係者からの強い要望を受けて創設されたものである。未だ113万柱もの遺骨が帰還していないという現状において、現地関係者と友好親善を図りつつ相手国の慰霊事業への理解を深める本事業のニーズは高い。								
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	国で実施要綱を定め、民間団体への補助事業として実施している。								
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	海没遺骨や相手国の事情等から遺骨収集ができない地域の戦没者の慰霊や関係遺族の慰藉をするものである。未だ113万柱もの遺骨が帰還していないという現状であり、優先度は高い。								
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○									
事業の効率性	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	事業の趣旨及び遺族の心情を深く理解し、事業の遂行にあたって誠実に実施できる団体に補助を行うため、公募によって選定を行っている。								
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無									
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	参加者の範囲を戦没者遺児に限定するとともに、一定の自己負担を求めると、適切に実施されている。								
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	事業実施地域の物価上昇などに対応するため、事業計画や経費の見直しを行う等、コスト削減に努めている。								
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-									
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	事業実施にあたり必要なものだけに限定されている。								
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-									
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	海外での事業実施であることから、現地事情の把握に努めるとともに、複数業者からの見積りを比較する等経費節減に努めている。									
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	実績は目標を達成している。								
	事業実施にあたって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	事業を効果的に実施するため、事業の趣旨及び遺族の心情を深く理解し、事業の遂行にあたって誠実に実施できる団体を公募により選定して実施している。								
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	見込み通り実施できている。								
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-									

関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		○	事業の趣旨・役割はそれぞれ以下の通りである。 ・慰霊巡拝事業・・・国において遺骨収集事業を実施しているが、未だ海外に多く眠る戦没者を国として慰霊するために、政府慰霊巡拝団を旧戦域に派遣し、戦没者の慰霊を行う。 ・慰霊友好親善事業・・・戦遺児が旧戦域の人々と戦犠牲者の遺族という共通の立場から友好親善を図り、慰霊事業に対する相手国の理解を深めることで、広く戦争犠牲者の慰霊追悼を行い、恒久平和を願う。
	所管府省・部局名	事業番号	事業名	
	社会・援護局	712	慰霊巡拝事業	

点検・改善結果	点検結果	本事業は概ね当初見込み通り実施できている。引き続き必要な経費を精査し、適切な慰霊友好親善事業を実施していくこととする。平成23年度より、可能な限り競争的な選定となるよう補助金の交付対象を公募により選定する方式へ改めている。
	改善の方向性	平成27年度においても、見込み通り実施できている。引き続き必要な経費を精査し、適切に慰霊友好親善事業を実施していくこととする。

外部有識者の所見

点検対象外

行政事業レビュー推進チームの所見

現状通り	点検結果も妥当であり、慰霊友好親善の実施に必要な事業であることから、引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。
------	---

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

現状通り	
------	--

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	463	平成23年度	421	平成24年度	367	/
平成25年度	732	平成26年度	730	平成27年度	746	

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

【平成27年度実績額】

厚生労働省
351百万円

↓

【補助金】

A (一財)日本遺族会
351百万円

参加者旅費、現地交流会、
記念事業経費

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて
補足する)
(単位: 百万
円)

